

シリーズ 第71回 人権



家事や育児は妻の仕事？

突然ですが、毎日の献立を考えるのってすごく大変ではないですか？

私は昨年結婚して夫婦2人暮らしを始めました。共働きで、夫は夜遅くまで仕事で帰れない上に、私も時期によっては毎日22時頃まで仕事をしています。そんな状態だからこそバランスの良い食事を取りたいのですが、仕事だけで疲れ果ててしまい、献立を考えている途中で寝てしまうことがあります。また、そんな日が続くと、片付ける気力も起きず、部屋は洗濯物の山やポストイングされたチラシなどで散らかっていきます。きっと泥棒に入られても気が付かないことでしょうか。結婚して改めて家事という仕事の大変さを痛感しています。

そんな状態ではありますが、私の夫は独身時代に一人暮らしをしていたため、料理・洗濯・掃除などの家事のスキルがあり、お互いの仕事量に合わせて当然のように家事を担ってくれています。しかし、友人たちの話を聞くと、ここまで家事をしてくれる夫は多くはないようです。たまに家事をしても「君の仕事を手伝ってあげたよ」という態度をとる人もいます。また、職場の先輩たちの話を聞くと、「夫に家事をしてもらうのは申し訳ない」という感覚があるそうです。家事や育児は女性がするものだという考え方がいまだに根強く残っているからだ

と思います。夫側も家事や育児に対してハードルの高さを感じているのかもしれませんが、家事は経験を積めば十分できるものです。仕事で疲れて帰ると、すぐに寝転びたくなる気持ちは分かりますが、一度挑戦してみたいはいかがでしょうか。

また、育児に関して、小学生の子を持つ先輩から、こんな話を聞いたことがあります。子どものPTAや学童の会合に出席しているのはほとんどが母親だそうです。これは、会合がある時間に仕事をしている父親が多いことが理由にあるのでしょうか。しかし、先輩はそれだけが原因ではないと言います。女性が多い場所に男性が出席すると、その男性が会長などの役員やその他面倒なことを任されてしまうことが多いから男性は出席しにくいのだそうです。女性も男性にやってもらえばいいやという甘えがあるのでしょうか。これでは余計に男性は参加してくれません。まさに悪循環ですよ。

私は、男性であろうが女性であろうが、できるときにできる人が行うことが大切だと思います。職を持つ女性が増えている世の中だからこそ、家庭の中からお互いに協力することが必要だと思います。まずは、今日の晩御飯から。いつも作っていない方が作ってみてはいかがでしょうか。

(30代・女性)

平成28年度 市民人権講座

1/14 美里社会福祉センターホール

時間	講座内容	講師
9:00~10:20	身も心もほぐし、ちょっと考えてみましょう。～お隣の人のことを～	石崎豊さん
10:30~11:50	人権寄席	切磋亭琢磨さん

問い合わせ 美里総合支所地域振興課 ☎279-8111 FAX279-8125